

東由利町報

No. 279 昭和53年6月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



【表紙のことは＝工事期間中は無事故で＝5月17日宿小建築地＝】

ひとくちメモ

“ビー”と鳴っても

まだ3分

公衆電話をかけるとき、あなたは多分、十円玉一つを入れてダイヤルを回していませんか。

これだと、相手が出た瞬間、「ビー」という音が入って相手の声が聞こえません。小さなことですが、わりと気になるものです。

この音は、通話時間があと三分間ですという信号です。(市内通話の場合)。ですから、音を消すためには二十円以上の硬貨を入れればいいわけです。

また、話し中にこのブザーが鳴ると電話はすぐに切れると思い、あわてて話を終える人も多いようです。しかし、先ほども触れたように、この音が鳴ってからでも三分間は話ができます。

No. 279

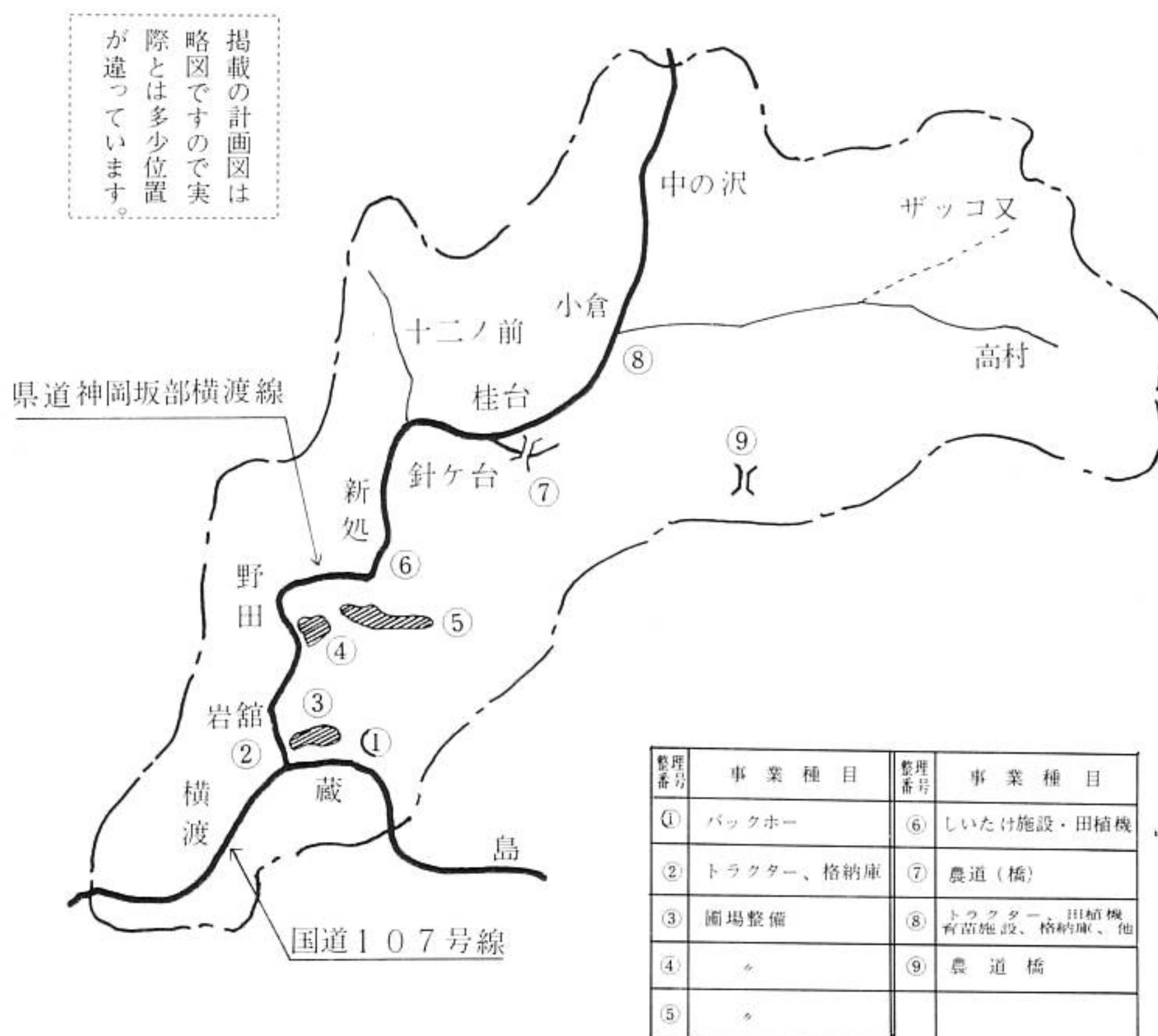
6 / 1

法内地区で

地域農政整備事業に着手

総額 8 千 8 百万円を投入

地域農政特別対策事業計画位置図



掲載の計画図は略図ですので実際とは多少位置が違ってきます。

町では今年から新たに「地域農政特別対策事業」を実施します。これは、土地利用や営農志向あるいは生産の組織化などについて地元の意向を集落段階から積み上げ、地域農政の総合的な推進方策を定め、農用地等の確保及び有効利用と、農業の担い手の育成、確保を図ろうという推進活動事業と、小規模土地基盤整備事業（ほ場整備、かんがい排水、暗渠排水、農道、農地開発、草地開発等）、近代化機械施設整備事業、営農集団活動促進事業、小作料一括前払助成事業等からなる整備事業の二本の柱があり、これを総合的、一体的に推進することによって新しい村づくりを進めようというものです。

〔地域農政特別対策事業年度別実施計画〕

事業主体	53 年	54 年
東由利町		○ほ場整備 3ヶ処 9.2ha 蔵 1.7ha （白山野 3.8ha） 小田山 3.7ha ○用水路（小田山） 500m ○農道（橋）整備 2ヶ処 （代三郎… 500m 橋りょう1カ処 8m） （川代… 橋りょう1カ処 6m）
東由利農協	○バックホー 1台	○バックホー 1台
岩館機械組合	○トラクター 30PS 1台 ○農機具格納庫 1棟 48.6㎡	
小倉中の沢集落農場組合	○トラクター 30PS 2台 ○播種機 2台 他育苗施設一式 ○田植機 4条植 2台	○農機具格納庫 1棟 66㎡
法内しいたけ生産組合	○しいたけ育成舎 1棟 166.4㎡ ○暖房機、運搬車各 2台 他機械機具	
法内集落農場組合	○田植機 4条植 2台	

今年度は
二千八百五十万円で
近代化施設整備
推進活動は昭和五十五年まで
三カ年間実施するものとし、今年度は百五十六万九千円の予算を計上しています。

整備事業は上の図でみるように、蔵の一部をいれた法内地区で二カ年にわたって実施するもので、計画では総事業費八千八百九十六万円となっており、今年度は二千八百四十九万六千円で近代化施設整備が行なわれます。

年度別事業実施の内容は別表のとおりです。

この事業が完了すると、法内地区の生産基盤は大部分が整備される見込みです。

法内線の道路改良と合わせて、同地区は近年大きく変わりつつあり、今後の発展が期待されます。

発展的・前進的に統合

祝沢分校七十六年の歴史に幕

春とはいえ、まだ風の冷たさが身にしみる四月二十六日、老方小学校祝沢分校の統合式が同分校で行われました。

式には、町長、議会議員、教育委員をはじめ、以前に同校で教べんをとられたことのある先生、老方小学校の教職員並びに部落の人達が出席しました。

式では、まず小松町長が「：祝沢分校は明治三十五年四月に『家庭教育場』を開設して以来七十六年間の長きにわたり、教育の営みをつづけて参りました。

昭和三十年以降のベビーブー

ム当時は児童数三〇名以上になったこともありです。

この間、十数名の教師が熱心に教べんをとり、祝沢地区発展の為に努力されましたが、特に工藤喜美雄先生は十五年、藤原先生、畠山先生は七年以上勤務され、コミュニティスクールとしての性格をりつぱに維持して参りました。

しかし、過疎の波にはさからうことができず、現在児童数一名となりました。

町議会、教育委員会、地域の方々との円滑な話し合いのもとに、発展的、前進的に対処し、

ここに統合式を挙行した次第であります。

ここに諸先輩の努力と地域の皆様方に深く感謝の念を捧げ、あわせて当地域の発展を祈念します。」と式辞を述べ、そのあと、佐藤教育委員長が「：地域の皆さんのおかげで明治以来長い間、教育機能を果たすことができましたが、過疎化により児童が一名となり本校との統合を余儀なくされました。このあと分校としての教育機能は終るが、地域の皆さんの協力と話し合いで、建物を利用した社会教育の面に利用してもらいたい。また、本校に通う児童には暖かい声援を送ってほしい」と告辞、長沢議会議長の祝辞と続き、さらに木村老方小学校長が「昭和五十三年四月一日をもちまして祝沢分校は本校と統合し、本日その統合式が行われているわけです。

この事につきまして校長として、町長さん、教育委員会、さらには町議会議員の皆様の教育への深いご理解と、正しい判断に敬意を表するとともに厚くお礼を申し上げます。

また、長い歴史を持ち、祝沢地域の皆様の心のふるさとともなつて参りましたこの分校の統合について、子どもによりよい教育の場を与えてやりたいという前向きな考えにたたれ、感情

を克服して理につかれた祝沢地域の皆様方に深く感謝致しております。

近年、道路事情の好転や、交通機関の発達という分校存置事情の変化に加え、甚だしい児童減という現象も加わり、祝沢分校が子どもを健全に育てていくための学校教育の場としては必ずしも望ましいとは言えない状態にたち至ったわけであります。

そこで、一昨年度、昨年度と二回に亘り、地域の皆様並びに係当局が祝沢地域の子どもの学校教育をどのようにすることが子どもの将来をも含めた幸せにつながるかについて、真剣に話し合つて参りました。その結果として見出し得た只一つの結論は、本、分校統合ということであつたわけであります。

私は敢て、重ねて申し上げます。

私情に溺れず、より高いものを求めていこうと決断されたこの度の統合という結論に、深甚の敬意と感謝の意を表します。」と挨拶、部落を代表して佐藤乙次郎氏が過去の思い出を語るとともに「：統合して、これから環境のよい本校で教育を受けることにより、りつぱな人間に成長するよう望むとともに、町に対しては、冬季交通の確保をよろしく願ひします。」と挨拶しました。

そのあと、最後の児童となつた四年の遠藤博幸君に、町長から記念品が贈られたあと、同君のお別れのことばがあり、出席者全員で螢の光を歌い、とどこ

分校での思い出

老小四年 遠藤博幸

ぼくは、いつも一人で勉強していたので、「もう一人いればにぎやかになるのになア」といつも思っていました。

でも、今野先生はとてもやさしい先生で、ぼくを元気づけてくださいました。わからないことがあると、とくにいっしょうけんめい教えてくださる先生でした。でもおこると今野先生はこわい先生でした。

祝沢分校で一番楽しかったのは、お昼の食事のときでした。今野先生が、ときどき紅茶をのむときがありました。ぼくにもおまててくださいました。それがとても楽しかったです。

勉強で楽しかったのは、体育の時間でした。いつも先生もいっしょにやってくださいました。なわとびをするときに、まるいわをつくって、その中ではみださないようにしてやつたのがとても楽しかったです。ぼくはいつもはみだして、それがおもしろかったです。

分校には本があるので、よく本を読みました。ペンとうを食べたあと、たいてい読みました。あそぶのより、本を

おりなく式を終えました。今後同分校は、地域の社会教育の場、コミュニティづくりの

読むことが楽しかったです。

一番よく読んだのは、「火山のふんか」とか、そういうのを読みました。

また、大きな地球があるの、今野先生と「日本」をいっしょうけんめいさがしました。

祝沢分校に校長先生とすとうかん先生がきてくれたことがありました。すとうかん先生はわかいけど、校長先生は年をとっているの、よくきてくれたな」と思いました。本校からお手紙をもつてきてくださいました。

ぼくはうれしくつてしようがありませんでした。みんなの手紙を読むとてもおもしろかったです。

校長先生は、四年生の豆電球をもつててくださいました。それで今野先生とかいいう電とうを作りました。

今は本校でべんきょうしているの、いつでも友達とあそべるのが一ばんたのしいです。わからないことがあると友達がおしえてくれるので、べんきょうもわかりやすいです。

でも祝沢分校でべんきょうをおしえてくださった今野先生ともう一度勉強したいなあと思っています。

場として活用されることになってます。



最後の児童となった博幸君に記念品……………

農林事業実施状況を視察

耕地が一、二〇〇畝もあつて大なり小なり圃場整備が進捗し、県町道が至る所で改修が行われているのをみられて、この部落から、あの山峡から生徒が通学しているのだという実感を深められた様で意義ある一日だった。

第二次農業構造改善事業の特枠事業で、蔵、黒瀬両地区の多目的研修センターの設計を決めて、県農政課、仙台の農政局の審査をパス。近々入札をして早期発注する。

農協総会、商工会総会、森林組合総会と一年の計画がスタートした。夫々の団体は将来への意欲に現在の悩みを抱えながらも最善の努力をしている。町はその中核となつて明日の東由利町の為に頑張らなければならぬことを痛感す

八塩をレク基地に

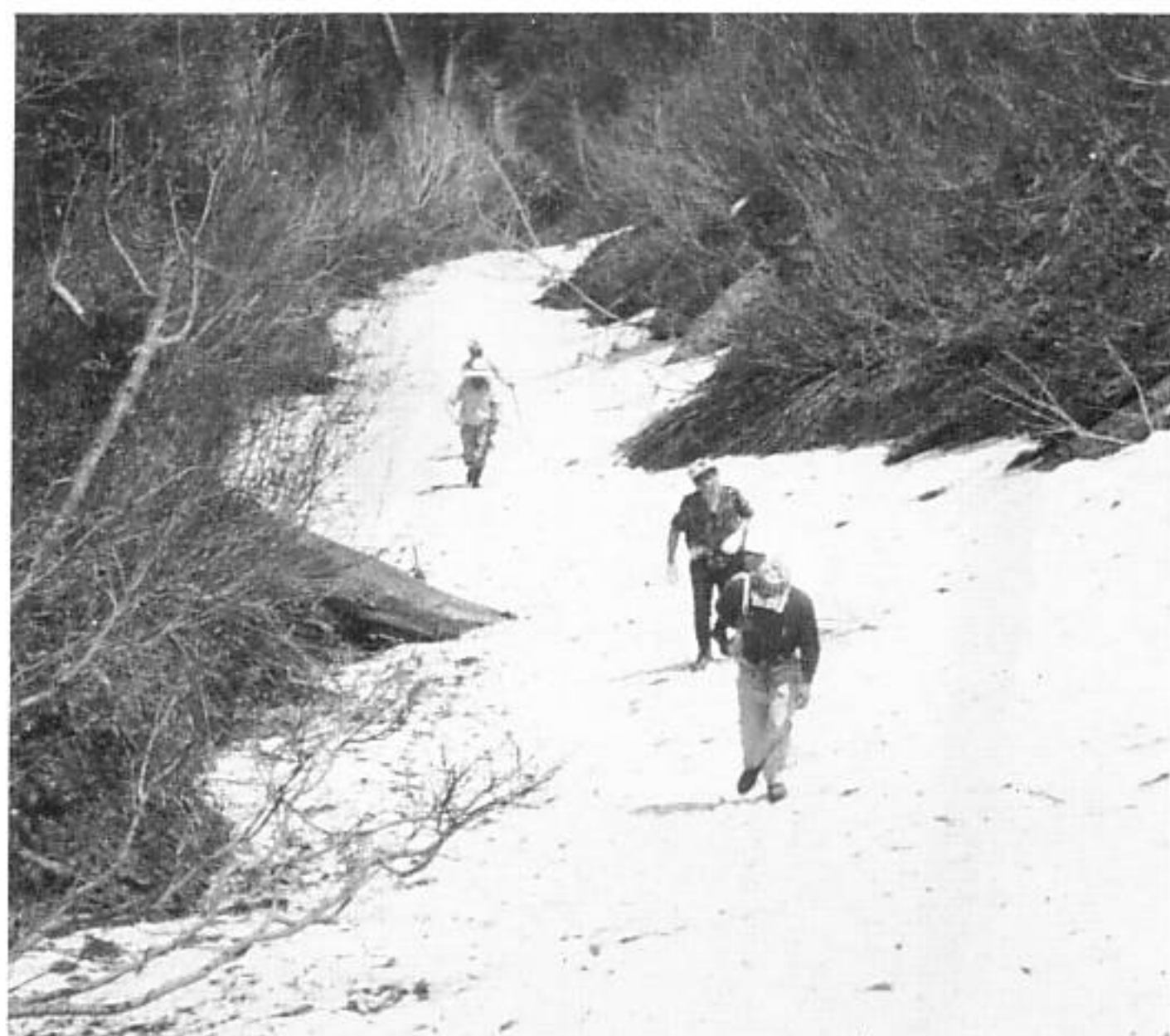
安全な登山道調査実施

町議会総務委員会は、昨年町教育委員会が八塩登山を中心に行なった、小学六年生対象の野外宿泊活動「少年自然教室」にねらい・郷土の大自然の中で共同生活を経験させ、たくましい創造力・豊かな情操、郷土を愛する心を養おうとの発展をねがって、環境整備はどうあればよいかを課題に、五月晴れの十五日現地踏査をしました。

踏査にあたったのは、町議会総務委員五人と営林署担当区二人ほか、町産業経済課、町教育委員会、地元の道案内人の総勢十三人。

一行は午前一〇時三〇分、不動滝のある深山口から登山を開始しました。

まずトチ台から杉木立に入り、とところどころに残る雪を踏みしめブナの原生林の小径を伝う。小鳥のさえずりが木々にこだましてすがすがしい。岩清水の湧く沢から西方にう回、鳥海山が美しく映える尾根を伝って頂上



残雪をふみしめ安全なルートめざし踏査が行われた

へ。約二時間三〇分で八塩神社到着。帰路は深山口への尾根伝いに約一時間三〇分で降下して踏査を終えました。

町民にもっと

親しまれる山に

踏査では、まずルートをどこに定めるかが話し合われました。安全で景観がよく急登坂にならないルートとして、八塩ダム西側の林道から入り、大吹川への溪流に丸太の組み橋を渡し、杉林を縫って矢島町との境界線の尾根を伝う登山ルートが適当ではないか。

また下山には、尾根から北方向の山腹を蛇行して岩清水から

家族みんなで

交通事故防止を

わたしたちのすぐそばで、悲惨な交通事故が毎日のように発生しています。

事故にあわれた方も、事故をおこした人も、その家族も、みんな不幸になります。

事故はちょっとした注意で、そのほとんどが防ぐことができます。といわれます。

各家庭で、次のことを守り、お互い交通事故を起こさないよう、またあわなないように気をつ

トチ台にいたる歩道整備がよいとの意見が大勢を占めました。

また頂上からは、かつて湯沢横手、大曲はては男鹿半島などの眺望が楽しめたといわれますが、最近では木立に覆われ視界がさえぎられており、伐採と合わせて、展望がきくような工夫と同時に、八塩山が、もっと町民の身近かな山として、一日ゆっくりピクニックのコースにもなりうるよう、長期的展望に立った計画と実行が望まれました。

なお、ことしの少年自然教室は七月下旬、二泊三日の日程で子どもたちの希望参加も得て行なわれる予定です。



五月一日付▼役場庁務員 小野キサ子（新採用）



けましょう。

一、酒を飲んでから、車や自転車を運転しない。

二、車を運転する人には酒を飲ませない。

三、脇見運転や、イライラ運転はしない。

四、無免許運転はしない。

五、スピードの出し過ぎや、無理な追越しはしない。

六、酒を飲んでから道路をふらつかない。

七、車のかげや道路では遊ばない。

る。

田植は一月も早くなった。本町の俳人で柴田壺碧の名を知る人が少ない。彼の句集の中から

鞍解けば

ねむがる馬や夕霞 壺碧

馬耕時代の農繁期での人と馬のコミュニケーションの記憶も歴史になりつつある。

須郷田の生活改善実行グループ根っ子の会（小松トミヨ会長―会員二十一名）では、「水田利用再編対策を機に、自家用野菜の自給率を高め、少しでも家計からの出費を抑え、生産調整

による所得減に対処しよう」と五月二日、同部落生活改善センターで野菜栽培講習会を開きました。

当日は、会員はもちろん、このことを聞いた隣部落の同グループふたば会（高下屋）から八名、他部落から五名、合せて三十名が参

野菜づくりを学ぶ

根っ子の会

“自給自足”で出費抑制

最近、農家でも自分の家でつくったものよりも、買って食べる野菜のほうが多いといわれています。

不況風がそしらぬ顔で吹きぬける中、せめて自分の家でつくれるものは自分でまかなうという“自給自足”の考え方が、今の我が国で最も必要ではないだろうか。

同グループの行った一つの事が、町全体に広がることを期待したいものです。

ゴミは

決められた日に
決められた所へ

加、講師に、本荘農業改良普及所の横田普及専門員をお願いし、同地区でつくられている野菜の中で、小さかったり、奇形だったりしてどうしてもうまく出来ない、長芋、にんじん、ネギの

時
臨
議

集落センター建築費など 一億四千五百七十六万円を補正

東由利町議会第四回臨時会は五月九日に招集され、次の案件について審議、全案件を原案どおり可決しました。

◆ 町立宿小築建築工事請負工事契約締結について

宿小築建築工事施行につき、次のように工事請負契約を締結する。

〔工期〕昭和五十二年十月十日まで

〔規模・構造〕鉄筋コンクリート二階建。延床面積一、六六七平方メートル

・躯体工事
株式会社浅沼組
一億一千五百万円

・設備工事
山二建設工業株式会社
一千五百五十万円

・電気工事
羽後電設工業株式会社

◆ 昭和五十二年東由利町一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億四千五百七十六万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ十九億二千五百八十七万四千円とした。

歳出補正の内容は、次のとおり。

・役場庁舎一部改築関係費 七百万円

・福祉バスバックテレビ購入費等 三十七万五千円

・大琴水道組合補助金 四十万四千円

・農免農道等起工式関係費 七十七万九千円

・二次農構多目的研修集会所建設費(蔵・黒淵各一棟) 一億三千二百三十四万六千円

・防火水槽設置費、小型動力ポンプ購入費等 四百七十七万円

・新任教職員歓迎懇談会費 十二万円



要望への町発活

＝出稼ぎ就労者打合せ会＝
健康診断は必ず受けて

昭和五十二年の出稼ぎを反省し、その問題点を協議する「出稼ぎ就労者打合せ会」が去る四月二十二日開発センターで開かれました。

当日はグループリーダーなど約百人の出稼就労者が集まり、町長ほか町の出稼対策関係職員、農協長及び職員、本荘公共職業安定所長、県出稼互助会指導員、議会議員らと、五十二年度の出稼状況や町の出稼対策、安全就

④ 技能訓練、各種研修会には積極的に参加してほしい。
⑤ 賃金の不払問題等に対するために「雇入れ通知書」「給与の支払明細書」は、一年間だけでも保存しておいてほしい。
⑥ 出稼先の住所はつきりしておいてほしい。
⑦ 出稼就労者手帳をもっと活用してほしい。
また、参加者からは次のような要望が寄せられ、町側等からは、これにこたえるよう検討を加え善処すると回答がありました。

◆ 出稼農業者短期研修視察の開催通知は東京周辺だけでなく、もっと広範囲の地区にも知らせてほしい。
◆ 事業所訪問については、町の様子を聞くことが出来、今後も続けてほしい。又、関西方面にも来てほしい。
◆ 出稼就労者袋に入れるミニセツトのはさみ等はもっと大きめのものがほしい。
◆ 魁新報の送付が遅いのでもっと早くしてほしい。
◆ 春の帰省時期が交通ゼネストと重なり大変困った。町で帰郷バスの運行を考えてもらえないか。

二功労者に感謝状

また、席上、長年にわたって本町の出稼者の地位向上と、安全就労に尽くされた畑山清一氏(下吹)と小松田忠之助氏(泡の湧)に、町長から感謝状と記念品が贈られました。



「生物時計の話」(山口大・千葉助教著)の中にこんな話が載っています。

「動植物を問わず、どの生物にも生まれながらに約二十四時間の生物時計が備わっており、この生物時計が同調し得る二十四時間か、またはそれに近い環境サイクルで、はじめて生命をまっとうすることが出来る。人間だけが例外だという考えは、通用しない。生まれつき私たちに備わっている約二十四時間単位の時間構造を、人工時計だけしかもっていない秒、分の単位で律しようとすることの愚かさはやめなければならぬ」とし、また、「アカイエカをはじめ北極圏洞穴の動物たち、そして人間の多くの実験から生物時計の存在がわかった。生物時計の仕組み、老化の問題、体温や血糖量の恒常性など、解明すべきテーマは多い。が、いえることは秒、分単位の人工時計の時間に追いついていく現代人が、逆に自然サイクルの中で生活のリズムを失っているのではないかと。自分の中の生物時計の音にそとと耳を傾けてはどうでしょう」というもの。十日は「時の記念日」です。

移動献血車「あかつき号」来町

一一七名の方がご芳志

四月二十六日、県の移動献血車「あかつき号」が来町、大琴診療所前など町内四カ所で百十七名もの方々から尊い愛の血液の提供をうけました。

献血されたこれらの血液は重病で輸血を必要とする人や交通事故など思いがけない重大事故で瀕死の重傷を負った人たちの生命を守るため有効に活用されています。

生命の危機を救う善意の献血は人間愛に燃える極めて尊い行為といえます。

なお、今回の「あかつき号」の来町は八月二十九日に予定され、今回以上の多くの協力が期待されています。

福祉の窓

町では昨年七月より、高額な医療費の支払いを必要とする人のために、経済的負担の緩和を図るため医療費支払資金の貸付けを実施しています。

●貸付けを受けられる人

・暦月一カ月分の自己負担の医療費の額が同一医療機関で四万一千円を超える人で、支払資金捻出の困難な人。

●借りることの出来る金額

自己負担医療費から三万九千円を差し引いた残りの八十程に相当する額。

今回協力くださった方々のお名前は次のとおりです。(敬称略)

【大琴診療所前】小野二郎、小野一雄、小野裕喜、小野清夫、佐々木日出夫、浅田富雄、佐々木泊漢、佐々木マサエ、佐々木邦夫、小笠原敏昭、小笠原キワ子、小野武雄、長谷山美和子、大西道祥、長谷山節男、佐々木重美、小松房之、遠藤太門、梅津栄一、小野肇、村上篤、遠藤利彦、佐藤真、伊東厚、佐藤裕子、佐藤睦、小松和弘、福田信一、梅津嘉人、佐々木幸雄、佐々木和子、鈴木博、遠藤進子、阿部たち子、遠藤由美子、木島富久子、石渡洋子、斎藤昭子、小松宮子、佐藤郁子、長谷山恵子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

【蔵小学校前】畑山昇三、阿部洋子、伊東喜久治、阿部久、小野夏男、阿部重二、渡辺秀雄、武田玲子(以上8名)

【農協玉支所前】遠藤忠雄、高橋富男、鈴木トミ子、小松久

子、佐藤和子、小松恵利子、佐々木雅広、木島江美子、佐々木富美子、阿部美奈子、小野ひろみ、長谷山京子、小松恵津子、加藤誠、(以上51名)

蔵青Aが雪辱果す

町青年 好レースを展開

五月五日、青く晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ中、在町青年のスポーツシーズン開幕を告げる、青年駅伝大会が行われました。この大会は、町連合青年会(し込みと同時に借りることが出来ます)の借入れ申込み方法、医療機関の発行する請求書と、借受人の印鑑を役場住民厚生係へご持参ください。

五月五日、青く晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ中、在町青年のスポーツシーズン開幕を告げる、青年駅伝大会が行われました。この大会は、町連合青年会(し込みと同時に借りることが出来ます)の借入れ申込み方法、医療機関の発行する請求書と、借受人の印鑑を役場住民厚生係へご持参ください。

五月五日、青く晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ中、在町青年のスポーツシーズン開幕を告げる、青年駅伝大会が行われました。この大会は、町連合青年会(し込みと同時に借りることが出来ます)の借入れ申込み方法、医療機関の発行する請求書と、借受人の印鑑を役場住民厚生係へご持参ください。

五月五日、青く晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ中、在町青年のスポーツシーズン開幕を告げる、青年駅伝大会が行われました。この大会は、町連合青年会(し込みと同時に借りることが出来ます)の借入れ申込み方法、医療機関の発行する請求書と、借受人の印鑑を役場住民厚生係へご持参ください。

五月五日、青く晴れた空に鯉のぼりが泳ぐ中、在町青年のスポーツシーズン開幕を告げる、青年駅伝大会が行われました。この大会は、町連合青年会(し込みと同時に借りることが出来ます)の借入れ申込み方法、医療機関の発行する請求書と、借受人の印鑑を役場住民厚生係へご持参ください。

高橋京子、伊東健市、菊地ミキ子、斎藤政子、荏野よし、菊地正子、安倍貞子、畠山節子、佐藤達男、佐藤安吉、遠藤のり、浅田照信、阿部喜円、佐藤米二郎、石渡博澄、寅田敏雄、高沢照久、三浦毅、佐藤守子、堀石愛子、堀石文弥、八島シゲ、小野長松、阿部弘章、阿曾文彦、猪股寿和、遠藤吉喜、諏訪芳造(以上46名)

【区間第一位】
一区(役場前→高戸屋5km)阿部悟朗(蔵青A) 17分13秒
二区(高戸屋→住小前折返し)須郷田4.6km 伊東国広(蔵青A) 17分5秒
三区(須郷田→島4.2km)千葉源治(法青) 15分11秒
四区(島→大琴5.3km)小笠原均(蔵青A) 17分55秒
五区(大琴→横渡3.8km)阿部誠(蔵青B) 14分8秒
六区(横渡→役場前4.4km)長沼久利(老青) 16分2秒

【総合】
第一位 蔵青年会A 1時間39分38秒
第二位 宿青年会(ハヤブサ) 1時間44分33秒
第三位 住吉青年会 1時間46分16秒



やった！優勝……

町民のひろば



町の概要	
人口総数	6,456人
うち男	3,173人
うち女	3,283人
世帯数	1,477戸
面積	148.51km ²
	(53.5.1)

春の町民スポーツ祭

6月25日台山で

球技大会

恒例の町球技大会も七回目を迎へ、6月25日(日)台山グラウンドで開催されます。
参加チームは、6月13日午後一時まで、公民館に申し込んでいただきます。
この大会は町民の体位向上と親睦を図ることをねらいとして、多数参加下さい。

種目	部門	選手及び補欠	出場数
家庭バレーボール	部落対抗部	男4人 30歳未満1人 補欠 30歳以上3人(以上男女各1人) 女4人 30歳未満2人 30歳以上2人	部落区分表による
	分館対抗部 40歳以上の部	40歳以上 (補欠 男女各1人)	2チーム
ソフトボール	分館対抗部	男女問わず 30歳以上40歳未満4人(1人) 40歳以上50歳未満3人(1人) 50歳以上 2人(2人)	2チーム
九人制バレーボール	地区男子青年対抗部	年齢問わず 9人	3チーム
	地区女子青年対抗部	年齢問わず 9人	2チーム
ゲートボール	老人クラブ対抗部	60歳以上 6人	2チーム
	婦人会支部対抗部	45歳以上 6人	2チーム

拾い物を返す運動

本荘警察署の倉庫は新品同様の自転車や、いろいろな拾い物の自転車を、いろいろな拾い物

でいっぱいです。警察では六月一日から六月十五日までの十五日間を「拾い物を返す運動期間」とし、この期

事業所統計調査にご協力を

≡ 6月15日・全国一せいに実施 ≡

三年に一回実施される「事業所統計調査」が六月十五日、全国一せいに終わります。
これは、わが国の事業所の業種や従業員数、営業状態などの実態をつかみ、国、都道府県、市町村で行政、経済施策を進める上で基礎資料となるものです。
申告されたことがらは、徴税などの資料には絶対に使用されませんし、調査員も他に漏らす間中は保管してある拾い物を公開いたしますので、お心当りの方は本荘警察署会計課までお問い合わせ下さい。
落し物、拾い物についてのお問い合わせは電話でも結構です。一件でも多くの方に返す運動にご協力ください。
本荘警察署

町の為に役立ててと 十万円を寄贈

さきごろ、埼玉県の矢島鉄筋工業株式会社(代表取締役 矢島重一氏)から、町の発展のために役立ててもらいたいと十万円が寄付されました。
同会社には本町から、遠藤藤富さん他六名が昭和四十八年から毎年出稼に行っており、そのまじめな就労には心から感謝されています。
町ではさつそくこのお金を、出稼対策関係等に使用してもらいたい。より充実した内容にしたい

防犯に役立ててと 水銀防犯灯一基

東北電力(株)本荘営業所(平川雄二所長)から、このほど防犯に役立ててと、水銀防犯灯一基が寄贈されました。
町では早速、宿の根城に取り付けました。

今年も戻る所得税

今回、昭和五十二年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。
還付される金額は、本人は六千円、控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円として計算した額です。ただし、昭和五十二年分の所得税額の方が少ないときは、その税額までとなります。
還付方法など詳しいことは税務署へおたずねください。

善意

老方小に雑巾百三十枚
町連合婦人会老方支部(長谷山シゲ支部長)では、先ごろ老方小学校に雑巾百三十枚を贈り、喜ばれています。

袖山小に桜苗木六本
袖山小学校昭和五十一年卒業生一同は、このほど母校に桜苗木六本を贈り、喜ばれています。

社福だより

故遠藤治三郎殿のご遺族(十ノ前、遠藤治郎助さん)より香典返しとして五万円が届けられました。
どうもありがとうございます。
故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

故小野ヨシエ殿のご遺族(蔵新田、小野作右衛門さん)より香典返しとして五万円が届けられました。
どうもありがとうございます。
故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

慶弔

4月21・5月20日



〇誕生
おめでとう



〇結婚
おしあわせに

伊東裕美 横渡 剛 長女	小笠原隼人 蔵新田 慶悦 長男	渡辺靖之 石高 幹夫 長男	小松 勉 家ノ下 文二 三男
志村 仁 新町	佐々木 民恵 本荘市	小松 武 五海保	小松 五緒子 山崎
佐藤 栄志 新沢	内藤 久江 新湯	伊藤 民雄 岩館	佐藤 タツ子 矢島町
畠山 健 石高	小松 宣子 湯出野	鈴木 和夫 沼	佐野 やす子 館合新田
石綿 清耕 大台	藤原 律子 岡山県		

・お悔み申し上げます

佐々木ナヲノ 大琴 81歳	小野ヨシエ 蔵新田 79歳	佐藤貞造 寺田 85歳	阿部真澄 桂台 1歳	高橋勝市 宇戸坂 37歳	遠藤ナヲ 新処 87歳
---------------	---------------	-------------	------------	--------------	-------------

「好きだから」は休ませていただきます